

# ふくい産業教育フェアについて

福井県立奥越明成高等学校 教諭 笹木 洋

教職のやりがいの1つに、生徒とともに様々な感情を共有しながら成長できる点があります。教員として生徒に教えられることは日々あり、それらが自身に新しい視点を持たせてくれます。また、各活動を通して共に悩んだり、喜んだりしながら一緒に頑張って作品を作り上げたり、物事を成し遂げることができます。

生徒たちが日頃の学習や研究の成果を発表し、職業系高校等の魅力を伝えるために開催される、「ふくい産業教育フェア」というイベントがあります。例年、本校の福祉コースが参加し、今年度はステージ発表の機会もありました。生徒たちは発表内容や、どのようにすれば観客に分かりやすく伝わるかなどの方法を主体的に考え、当日は多くの好評をいただきました。それまでの過程を知る教員としてはこれ以上の喜びはありません。生徒同士が試行錯誤したり、教員とも意見交換したりしながら発表内容を作り上げる姿、そして当日には緊張しながらも多くの方々の前で堂々と発表する姿に、大きな感動を覚えました。また、入学時では想像できないほどの生徒たちの成長を感じることができました。参加されていたどの学校の生徒も各科の魅力を存分に伝えており、他校の教員の方々も私と同じような思いを持っているのではないかと感じています。

一例を紹介しましたが、教員として働く日々はこうしたことの連続だと感じます。来年度は全国産業教育フェアが福井県で開催されることになっています。これからも日々の学校生活ではもちろん、様々な機会を通して生徒とともに成長し、多くの思い出を作っていきたいです。